

勝山市立図書館 からのお知らせ

～新刊本の一部を紹介します～

一般

「ヘコんでも大丈夫！3秒で立ち直る技術」 清水 英雄／著 同文館出版

失恋や大きな失敗にショックを受けたとき、何もかも嫌になる前に、まず一時的に心を緊急避難させよう。「責任の所在をよそへ移す」「明るい未来にのみ目を向ける」など、3秒で立ち直る技術を紹介。



「千年たどる家系図物語」

渡辺 宗貴／著 時事通信出版局

家系図作りが仕事の僕に、女子大生・源静香が家系調査の依頼をしてきた。静香に僕は「自分で調べてみませんか？」と声をかけた。それは過去を知る旅であり、静香が自分自身と向き合う旅だった…。



「葬儀から壊れていく家族」

橘 さつき／著 さくら舎

遺言書を書いてくれない。家族の絶縁。知らないうちに消えた墓…。10年以上、家族問題を取材してきた著者が、弔いをめぐる家族の揉め事で、負の感情に苦しむ人たちの実情に迫るノンフィクション。



「ガッテン農法 いい土を育てる」

三浦 伸章／監修 ブティック社

土のパフォーマンスを引き出す畝づくり、土の養生の仕方、土の力を活かしたおいしい野菜を育てるテクニック…。自然の仕組みを活かした家庭菜園での土の育て方を伝授する。



中高生

「これでわかる！韓国のくらしの常識」

ルナ・キョン／文 原書房

通貨や言葉、礼儀作法、韓国料理、祝日とお祭り、韓服や武芸、K-POPや韓国ドラマ、観光地…。伝統的な文化や最先端の流行まで、気になる韓国の日常の1コマをかわいいイラストでやさしく解説。



「意味がわかると怖すぎる学校の記録」

狐歪野 ツッコ／作 KADOKAWA

「この学校で起こる異変は、全部つながります」そう言い残して、1人の女子生徒が消えた。生徒会のメンバーは、校内で起こる不可解な出来事を調べ始め…。最後まで読むと意味がわかるホラー短編集。



児童

「捨てられないずかん」

米田 まりな／著 大和書房

短くなったえんぴつ、好きだった電車のおもちゃ…。子どもが捨てられない持ちもの50個を取り上げ、ものに対するエピソードと、かたづけるためのアドバイスを掲載する。かたづけの力がつく本。



「頂を目指して」～ジュニア版～

石川 祐希／著 徳間書店

バレーボール日本代表でキャプテンとして、チームを引っ張る石川祐希選手がこれまでの歩みを語る。読み仮名をつけ、欧州チャンピオンズリーグ優勝までの出来事やそのときの気持ちも加筆。





10月の行事案内

勝山市立図書館 ☎88-6000

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4 絵本の森 午後2時～2時30分
5	6 休館日	7	8	9	10	11 おはなしでてこい 午後2時～2時45分
12 アニメ上映会 「おじゃる丸 満月ロード 危機一髪」 午前10時30分～11時20分 絵本と手品のつどい —K&ピエロー— 午後2時～2時30分	13 休館日	14	15	16 ブックスタート 受付：午前10時～ 11時30分	17	18 絵本の森 (Voice) 午後2時～2時30分
19	20 休館日	21	22	23	24 赤ちゃんとおぼんの日 午前10時30分～11時	25 絵本の森 午後2時～2時30分
26	27 休館日	28	29	30 休館日（館内整理日）	31	

今月の企画

里親制度を知る

今月は里親月間です。里親制度についての理解を深めるために、里親制度がわかる本や、里親の体験談、里子の気持ちができる本など、里親に関連する本を特集しています。



10月31日は「ハロウィン」です。本来はケルト民族の秋の収穫祭が由来の行事ですが、アメリカに渡ってから、仮装した子どもたちが家を回ってお菓子をもらう風習が生まれました。

今回は、ハロウィンを楽しむ工作や料理、仮装の本、魔女やかぼちゃが出てくるおはなしをそろえました。